

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「写真（映像）で見る富山大空襲」

富山市立奥田中学校

平成25年2月13日実施

【いのちの先生】

和田 雄二郎先生

・富山大空襲を語り継ぐ会会長

【授業の概要】

- 1 富山大空襲の概要
- 2 被害を大きくした理由
- 3 平和な国にするために

私は、総合的な学習の時間に、かつて戦争をしていた日本での出来事を学び、改めて戦争の悲惨さを知りました。戦争が終わっても放射線等の影響で病気にかかり苦しんでいる人がたくさんいることを知り、聞いていて苦しかったです。戦争によって幸せになれる人なんていないと思います。多くの命がこの世から消え、笑顔も消え、大切なものが何もかも消えていくと思います。だからこそ、戦争なんてするべきではないし、やらない方がいいと思います。いつか、平和で戦争がない世の中になることを願っています。



僕は、この世から「戦争」という2文字が消え去ってほしいです。戦争をしても何も残りません。無残で悲惨なことです。多くの尊い命が今も奪われています。たった12年という人生を閉じた佐々木禎子さん。平和を祈り続け千羽鶴を折り続けたと聞きました。核兵器や戦争を亡くし、この世が平和になってくれることを願っています。二度と過ちを繰り返さず、共存し分かち合える世界になってほしいです。

今生きていることはとても幸せなこと。当たり前のことのできるのは幸せなこと。家族や友達がいることはとても幸せなこと。愛されていることは幸せなこと。戦争はとても醜い争いで自分の利益しか考えていない。戦争はかけがえない命を無駄にするもの。今戦争で苦しんでいる人がたくさんいる。だから自分たちは今を精一杯生きることが一番大切なことだと思う。当たり前のことのできて幸せだということを考えなければならないと思いました。

今戦争を行っている国の人へ。戦争は何もかも失います。武力による解決は悲惨な歴史を残すだけです。今すぐ戦争をやめてください。核兵器を所有している国の人へ。日本は原爆を投下されて核の恐ろしさを知っています。どうか使い方を間違えないでください。何もかもなくなった世界に「平和」は残りません。なくなってからでは手遅れなのです。そのために、私たちは、「平和とは何なのか」を考え訴えていく必要があると思います。